

故障時の対策

エンジンがスタートしない

1. セル・モーターが廻らない時は、バッテリーの充電状態或はヒューズをチェックして下さい。セル・モーターを使わずに、エンジンを始動するには、まずキー・スイッチを“ON”にし、カップリング・セレクターは“0”にします。次に車を押して走らせながら、カップリング・セレクターを“1”にします。エンジンがスタートしたら、車に飛び乗ります。
2. セル・モーターが廻ってもエンジンがスタートしない時は、スパーク・プラグの火花の状態をチェックして下さい。火花が飛ばなかったり、小さい時は、スパーク・プラグ、プラグ・キャップ、CDI等をチェックして下さい。
3. 酸化しないガソリンがシリンダー内にたまり、スパーク・プラグがしめっても火花が飛ばず始動できなくなります。この場合は、燃料コックを閉じ、スパーク・プラグをはずして乾かし、5～6回スター・ボタンを押してからスパーク・プラグを取り付け、燃料コックを開き、エンジンをかけます。

走行中にエンジンがストップする

しばらく走行するとエンジンがストップするのは、燃料の流れが悪いためにおこることがあります。燃料タンク・キャップのブリーザー(空気穴)、燃料コック、キャブレターの燃料フィルター等をチェックして下さい。

加速や変速が正常にできない

Vベルトのスリップやゆるみをチェックして下さい。Vベルトがのびてしまった時は、サービス・ステーションに交換を依頼して下さい。

エンジン・パワーの低下

マフラーのつまり、シリンダー・ヘッドのゆるみ、スパーク・プラグのゆるみ等が考えられます。マフラーを掃除し、取付ねじや、スパーク・プラグのしめ付をチェックして下さい。